



東京園芸ニュース (28年度-31号)

平成28年7月 / 群馬県東京園芸情報センター

柔らかくて美味しい！旬を迎えた露地なすをPR ～東京多摩地域で共計露地なす消費宣伝～

- 日時：7月21日(木) 10:00～17:00
- 会場：スーパーアルプス 29店舗
うち、産地による試食宣伝実施4店舗（八王子駅南口店、西八王子店、北野店、日野店）
- 主催：全農ぐんま、共計参加JA
- 内容：共計露地なすの試食宣伝、リーフレットの配布等による消費拡大と産地PR

旬を迎えた本県産露地なすを共計参加各JAが自らPR

今年で2回目となった都内でのなすの消費宣伝活動は、共計に参加する県内各産地のJA担当者自らが店頭に出立ち、本県産露地なすのPRを行いました。今回は、東京都多摩地域（八王子市、日野市）のスーパーアルプス4店舗にて開催され、試食提供とともに、県産なすの特徴や調理方法のアドバイス、美味しいなすの見分け方などをお客様へ丁寧に説明しながら、旬を迎えた本県産露地なすの販売促進と消費拡大を図りました。



本県産なすの売り場の様子

鮮度抜群！柔らかくて美味しいなすを試食宣伝

今回試食宣伝を実施した4店舗では「なすのわさび漬け」を試食提供し、柔らかい本県産なすの食感を味わっていただきました。「美味しい、美味しい。」と早速味付け用調味料とともに買い求める方もおり、大変好評となりました。あいにくの雨でしたが、来店した多くのお客様に“群馬県産なす”とその美味しさをPRすることが出来ました。

なお、露地なすの共計出荷は11月末まで続き、今後も県内外での消費宣伝も併せて行われる予定です。本県の夏秋なす生産は、作付面積447haで全国4位、出荷量14,100tで全国2位（平成26年農水省）と重要な品目の一つで、収益性や安定販売の点から本県でも積極的な生産振興が図られています。



試食提供した「なすのわさび漬け」



八王子駅南口店での消費宣伝



北野店での消費宣伝